

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第40回本部会議 記録

日 時／令和3年3月12日（金）

17:30～18:00

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいまから、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部第40回本部会議を開催いたします。早速議事に入ります。まず「道内の感染状況」等につきまして、保健福祉部長から説明をお願いいたします。

【三瓶保健福祉部長】

まず、資料1をご覧くださいと思います。道独自の警戒ステージの指標についてありますが、昨日時点で、重症者用病床数、感染経路不明の割合を除きまして、入院患者数、新規感染者数などの指標におきまして先週に比べ増加している状況でございます。新規感染者数の状況については、昨日時点の直近1週間で457名となっており、週合計人口10万人当たり8.6名と先週よりも上昇しております。また、感染拡大の兆候を示すリンクなしの割合については、昨日時点で23.6%となっております。なお、資料にはございませんが、本日の新規感染者数は53名であり、直近1週間で446名、週合計の人口10万人当たりの感染者数は8.4名となっております。

医療提供体制につきましては、ピーク時である12月11日の982名と比べ大きく減少しておりますが、医療機関等における集団感染の発生などにより、昨日時点での入院患者数は359名と、先週に比べ増加し、道の警戒ステージ「4」相当の水準まで上昇している状況にあります。

検査数につきましては、直近1週間では、16,060件、陽性率も2.8%となっております。

地域別の感染状況については、札幌市を含む石狩管内が全道の約5割弱と大きな割合を占めておりますが、集団感染の発生などによりまして、後志、上川、十勝、釧路の感染者が増加している状況にあります。

集団感染については、11月以降の月単位の発生件数は減少しておりますが、3月に入っても、医療施設・福祉施設、事業所等での発生が続いております。3月発生の集団感染を地域別で見ますと、札幌市では、継続的に、医療施設、事業所等、学校で集団感染が発生しております。また、十勝、釧路では、医療施設・福祉施設における大規模な集団感染が見られております。

道では、道立衛生研究所において、変異株に係るスクリーニング検査を実施してございまして、先月1日から今月7日までの108件の検査を実施しており、実施率は現在16.1%となっております。なお、道立保健所管内では、現在、スクリーニング検査において、陽性は確認してございません。また、道立衛生研究所において、変異株に係るゲ

ノム解析を実施しておりまして、札幌市及び小樽市からの依頼を受け、これまで13件実施しております。その結果を国立感染症研の方に送付し、判断していただいたところ、全て英国型の変異株であることを確認しております。なお、これらの感染者につきましましては、既に入院措置を実施しているところでございます。

次に、道内の感染状況について、新規感染者数が、概ね同程度でありました11月2日の感染状況と比較しますと、新規感染者数の増加の伸び具合を示す「前週との比較」は、11月と比較して大きいですが、札幌市の感染者数の割合は、11月の7割から現在は約4割となっており、また、「陽性率」につきましても、11月時点と比べおおよそ半分の数値となっております。

次に、感染拡大の兆候を示す感染経路不明では、その「割合」「実人数」「前の週との比較」の全てにおきまして、11月時点よりも、大きく下回っている状況にあります。

次に、集団感染の状況については、11月時点と比べ、感染者数は増えているものの、その内訳を見ますと、11月は「飲食店等」、これが多数を占めていたのに対しまして、現在は「医療・福祉施設」の割合が高くなっております。

最後に総評でございますが、「感染状況」については、まず、3月に入り、石狩、十勝、釧路管内で、医療施設・福祉施設における大規模な集団感染が発生するなど、これらが全体の感染者数を押し上げ、全道の新規感染者数は、前週比で7日連続の増加となっております。

また、週合計の10万人当たりの感染者数は8.6名となり、昨年の感染拡大の初期段階であります11月2日と同水準となっておりますが、現在の特徴といたしましては、感染経路不明割合は低い水準で、その実人数も11月の半分程度となっており、また、陽性率も低い水準で、同様に、11月の半分程度となっております。さらに、札幌市での新規感染者が、全道の7割を超していた11月に比べますと、現在は、4割弱と概ね人口比どおりとなっております。以上のことから、保健所による積極的疫学調査等において、感染者は相当程度捕捉されていると考えられる一方、この間の流行によりまして、全道各地で感染の可能性があるとの想定のもとに、対応していく必要があるというふうに考えてございます。なお、先ほども報告しましたが、3月10日には、道内においても英国型変異株への感染を13例確認してございます。

次に「医療提供体制」についてであります。入院患者数は、医療施設における集団感染の発生などによりまして、先週に比べ増加しており、350床前後で推移しております。また、重症患者につきましましては大幅な増加は見られておりません。

最後に「今後の対策」についてであります。感染者が増加傾向にあり、変異株も確認されていることから、警戒感を高め、まず「集団感染への対応の徹底」、「変異株への対応」、あと「基本的な感染防止対策の徹底」について取り組む必要があるというふうに考えてございます。

次に、お手元に配布しております「資料2」をご覧ください。「道内の感染状況等について」は、事前に、有識者及び専門家からのご意見を伺うとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせしております。有識者などからは、変異株も確認されていることから警戒心を高め、黙食など予防策の徹底が必要、また、移動や飲食の機会が増加する

年度替わりの時期に向けて、更なる感染拡大が懸念されるため、道民の方々に、引き続き緊張感を持った行動をお願いする必要がある、また、集団感染の発生を踏まえた、類似施設等に対するPCR検査の実施を検討すべき、といったご意見が寄せられております。また、関係団体からは、道民が前向きに取り組めるようなメッセージの発信といった意見のほか、ワクチンや変異株に関する取組についてご意見をいただいたところでございます。私からは以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

ただいまの報告の中で、変異株、変異ウイルスに関する説明がありましたけれども、これに関しまして、本日、オブザーバー出席をいただいております、札幌市の山口感染症担当部長から補足説明をお願いいたします。

【山口札幌市感染症担当部長】

札幌市内の変異株の対応状況につきまして、追加のご報告をさせていただきたいと思っております。変異株の13件の確認の経緯でございますが、変異株が確認されている道外の地域からお仕事で札幌においでになった方が新型コロナウイルスの陽性ということが確認されたために、その方とその方に関係した方々に対しまして、コロナの検査並びに変異株のPCR検査、変異株のスクリーニング検査を実施したところ、12検体が陽性となったところでございます。北海道立衛生研究所で、このような検体につきまして、ゲノム解析をしていただきまして、その結果を国に送付し確認をしていただいたということで、12検体いずれも、アミノ酸配列の501番目がアスパラギンからチロシンに置き換わった、英国型ということの報告があったというところで確定したところでございます。

また、後の経過でございますが、この集団感染と繋がりがあの方につきまして、検査を進めていったところ、コロナの陽性の方が出てまいりましたので、このコロナの陽性の方につきまして、2名の方につきまして、さらに変異株スクリーニング検査を実施したところ、この2名が変異株のスクリーニング検査陽性となったということで、2名さらに加わった形になってございます。

今後の札幌市の変異株の監視体制などの取組状況につきましては、感染力が従来よりも強い可能性があるというふうに報告されているこの変異株が市中に広がることも懸念される、また今回のクラスターの中でもう少しまた広がりがあると想定いたしまして、変異株の感染拡大防止、さらには可能性としての市中感染の広がりということをモニターすることも考えまして、今後より広く、より積極的にこの検査を実施してまいりたいというふうに考えてございます。私からの報告は以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、続きまして、直近で集団感染の事例が発生しております振興局から、状況と、それへの振興局の対応等について、報告を順次お願いしたいと思います。まず、十勝総合振興局長からお願いします。

【水戸部十勝総合振興局長】

資料3に基づきまして、管内の集団感染の概要についてご報告いたします。管内では、2月下旬に入りまして、2件の集団感染クラスターが相次いで発生し、今日までで「公立芽室病院」で計48人、帯広市内の老人ホーム「ノーステラス緑が丘」で、本日1名発生しておりますので、61人になります。感染を確認し、現在14例目のクラスターとなっております。

2の対応については、1の体制整備では、資料に書いてございますとおり、感染管理認定看護師の派遣、高齢者施設への現地対策本部の設置などを行っております。特筆すべき点としては、資料では下線を引いてございますけども、「公立芽室病院」は、管内のコロナ受け入れ病院でもあることや、「ノーステラス緑が丘」につきましては、複数の老人ホームや病院を経営する大型法人の傘下であることなどから、医師や看護師、介護職員などの応援につきましては、現時点では病院や系列の施設間でのやりとりで対応ができてございます。また、振興局内においても、保健所の負担軽減を図るため、局内の応援職員を配置しておりますけども、これに加えて当初からコロナ対応につきましては、オール十勝で取り組むという管内首長さんの御理解もいただいておりますことから、必要な人員については、市町村からも応援をいただける体制ができてございます。今回は帯広市の方から既に2名の応援をいただきながら、対応してございます。こうした市町村からの人的支援につきましては、宿泊療養施設でもですね、同様に行っているところでございます。ただ、今後の状況如何によっては、本庁指揮室に応援をお願いすることもあるかも知れません。その際は何卒よろしくお願いを申し上げます。

②の感染拡大防止に向けた対応では、積極的な疫学調査の下で、幅広い関係者のPCR検査の実施、現地とのウェブ会議の開催やゾーニング指導、必要な物資の提供などの他、市町村長と連名で、住民をはじめ、業界団体等への呼びかけを行うとともに、高齢者施設に対しては、振興局長名で管内全ての施設管理者に対し文書で注意喚起を繰り返し行っているところでございます。また国立感染症研究所の医師にはですね、夜の街対策のアドバイザーとして、今、何度も十勝にお越しをいただいておりますけども、先日来庁された際に、この現地のグループ会議にも参加をお願いし、指導助言などをいただいているところでございます。

今後とも、引き続きクラスターの終息及び管内の感染防止対策の徹底に努めてまいります。十勝からは以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

では続きまして、釧路総合振興局長からお願いします。

【山口釧路総合振興局長】

釧路から管内の集団感染事例につきまして、ご報告いたします。釧路市内では3月に入りまして、先週、白樺台病院の集団感染、報告いたしました。新たに孝仁会記念病院、そして有料老人ホームでも集団感染が発生しております。これまでの検査で職員や入院患者等に多くの陽性が確認されまして、医療体制にも負荷が生じている状況でございます。なお、今日新たにこの三つの施設で22名の新規感染が確認をされております。

集団感染の対応ですが、①の体制の整備、まず保健所内と老人ホームにおきまして、それぞれ対策本部を設置いたしまして、日々の検査計画ですとか、施設への支援内容、陽性者への対応などを協議しまして、共通認識を持って各自の取組を遂行しております。さらに指揮室にも調整をとっていただきまして、二つの病院には医師、看護師を派遣しているほか、公衆衛生師や保健師が各施設を三つの施設を巡回して専門的・技術的助言を行っております。記載はございませんが、老人ホームにつきましても、看護師や介護職員の派遣が何とかできないか、現在調整を進めているところでございます。

②の感染拡大防止に向けた対応ですが、速やかに計画調査を行い複数回のPCR検査を進めるほか、施設のゾーニングですとか、具体的な感染拡大防止対策を個々にアドバイスを行っております。

最後の「・（黒ボツ）」の行ですが、先週は管内の住民向けに緊急メッセージを出しましたが、今週3月8日ですが、管内の全ての医療機関に対しまして、今後円滑なワクチン接種を進めるためにも、今一度院内における北海道スタイルの実践はもちろんです、国の新型コロナウイルス感染症診療の手引き等に基づく対策の徹底を要請する文書を市町村長、釧路市医師会長、保健所所長らの連名で発出してあります。

今後とも引き続き関係機関と連携して、地域における感染拡大防止対策の取り組みを進めてまいります。釧路からは以上です。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、その他、各部から報告事項がありましたら、ご説明をお願いいたします。まず、保健福祉部長からお願いします。

【三瓶保健福祉部長】

資料5をご覧くださいと思います。4月5日の週から19日の週にかけて、高齢者向けワクチンが、国から配布されることになっておりますが、その数は、優先接種の対象であります本道の高齢者の方々、約166万人に対しまして、22箱、約1万1千回分にとどまりまして、必要数を大きく下回ることから、その配分先等を含めた、道としての対応について整理したので報告をします。

まず、目的についてであります。今後、全道民を対象としたワクチン接種を実施することに鑑みまして、接種手順の確認や、圏域内の市町村への研修、接種システムの機能確認など、接種の本格実施に向けた体制の構築としております。

また、先行実施する市町村と連携し、管内の情報共有を図りながら、支援ニーズの把握に努め、各振興局の役割の確認や市町村支援の具体化などを進めていくこととしております。

次に、先行実施市町村の考え方ですが、本道の広域性を考慮しまして、第二次医療圏単位で先行実施することとし、保健所設置市又は道立保健所所在地を基本としたところでございます。

スライド2をご覧くださいと思います。先行実施する市町村については、先にお示しをしておりますとおりでございますが、この一覧のとおりでございます。

スライド1に戻していただきまして、次に、その具体的な配分方法についてであります。先行実施市町村に対しては、地区別や高齢者施設ごと、また、基礎疾患を有する者など、先行実施の対象となる方々の選定例、これを本日中にお示しすることとさせていただきます。

最後に、本道へのワクチンの出荷数についてであります。4月19日の週までに、先ほど申しました22箱、約1万1千人分が出荷された後に、26日の週に179箱、約8万9千5百人分が出荷される予定となっております。これによりまして、全市町村に1箱ずつ供給する予定があります。なお、その取扱いなどにつきましては、国から連絡があり次第、詳細を決定し、お知らせをする予定であります。私からは以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

続きまして、総合政策部長からお願いいたします。

【倉本総合政策部長】

資料6をご覧くださいと思います。「年度末・年度始めに向けた普及啓発」ということでございます。3月8日以降の対策といたしまして、行動変容の定着に向けた普及啓発等に取り組むこととしておりますが、これに関しまして、直近の取組について2点ほど報告いたします。

まず、道民向けの情報発信といたしまして、お手元にも参考資料として配らせていただいておりますが、集団感染の事例集を作成いたしております。職場や学校などでご活用いただきたいというふうに考えております。また、黙食の啓発チラシも作成いたしております。どちらも道のホームページから自由にダウンロードができるようにしております。黙食につきましては道の関係施設での掲示を進めるとともに、市町村や関係団体等を通じまして、周知を図っていきたくと考えてございます。

次に、若者向けの情報発信についてです。若い方の関心を高めるため、北海道出身のマンガ家の方をお願いしまして、ポスター及び4コママンガを作成いたしております。ポスターは、各市町村、大学等へ掲示を依頼いたしまして、4コママンガは、ツイッターや道の動画サイト、街頭ビジョン等で、今後展開していきたくと考えております。

各本部員の皆様におかれましても、様々な場面でご活用いただきますようお願い申し上げます。私からは以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

続きまして、経済部長からお願いします。

【山岡経済部長】

経済部です。お手元に配付しております資料7をご覧ください。時短や外出自粛などにより影響を受けた道内事業者の皆様に対する支援金の概要についてご説明いたします。

昨年の秋から感染症の再拡大に伴いまして、時短や外出自粛などの対策により、厳しい経営環境にある事業者の皆様のこれまでの感染防止に向けた協力に対する支援として新た

な支援金制度を創設いたします。具体的にはスライドの1ですね。時短対象飲食店等との取引のある事業者、または外出・往來の自粛要請等による影響を受けた事業者で、飲食店の時短営業や外出自粛などの影響によりまして昨年の11月から、今月までのいずれかの月の売り上げが、前年同月と比べて50%以上減少した方々に、法人であれば20万、個人事業者であれば10万を給付するものでございます。現在、4月上旬の申請の受付開始を目指しまして制度の詳細設計を進めております。

現時点での概要として、対象となりうる事業者や申請方法などを示したこの資料を、本日、道のホームページで公開する予定としております。本資料の公開に伴いまして、相談窓口ですが、現在、経済部の中小企業課としておりますが、事業者の皆様から各振興局への相談や問合せがあった場合には、丁寧な説明をぜひお願い申し上げます。本資料では先ほどご説明した通りまず1ページで制度の概要を説明いたしまして、おめくりいただければと思いますが、スライドの2ではですね、給付の対象としている事態や外出自粛などの影響を受けた方々のイメージを示してございます。スライドの3では、その方々の具体的な業種を例示してございます。あとスライドの4ではですね道内の事業者の皆様も、受給できる可能性がございます、国の一時金、一時支援金制度の概要をご紹介します。

また、5ページでは、こちらの方では道の特別支援金の申請から給付までの流れをするお示しをしております。またおめくりいただきまして、スライド6では電子申請という郵送申請の両方で受け付ける予定であること、また、申請の際に必要な書類をお示しをしております。このうち、スライドの4に戻っていただければと思うんですが、改めてご覧をいただければと思います。この国の一時金ですが、すでに3月8日ですね、3月8日から受付を行っておりますが、これ法人には上限60万、個人事業者には上限30万というのを上回る支援額の制度もございまして、11都府県に発令された緊急事態宣言に伴う影響緩和を目的とするものですが、道内の事業者でも、受給できる可能性がございます。あと国の一時金等と道の特別支援金は、どちらかのみ受給できるということとしておりますので、まずは事業者の皆様に対しては国の支援金を活用できるかどうかのご案内をすることとしてございます。

また道の支援金についてはですね、現在、制度の詳細は検討中であるものの、6ページにございます通り、売り上げの減少を示す書類として、確定申告書の控えですとか、売上台帳等が必要となるのでですね、申請を検討されている方、そういう方々からの相談があった場合にはですね、そういう紙書類をですね、あらかじめそのご準備いただくということですね、スムーズな申請に繋がるということですね、お知らせをしていく考えでございます。

今、先ほどですね、全道の商工会議所、商工会を通じて周知をお願いするということですね、道商連など全道団体にも依頼をいたしましたが、改めて各振興局にもですね、周知や相談の対応につきましてご協力をお願い申し上げます。今後、早急に制度の詳細を検討を進めまして、検討状況については随時、道のホームページでもお知らせしながら、全道の事業者の皆様幅広く支援が行き届くよう取り組んでまいります。私からは以上です。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、その他、報告、発言等ございますでしょうか。よろしいですか。はい、そ

れではここで本部長からお願いをいたします。

【本部長（知事）】

3月7日日曜日で集中対策期間が終了いたしました。終了から約1週間が経過いたしました。この間、医療施設における大規模な集団感染等、そういった影響によりまして、60名を超える新規感染者数が連日確認をされている状況など、予断を許さない状況が続いているところであります。

また、報告のあったとおり、道内においても変異株が確認をされました。道としては、警戒感を一段高めて、ここからの感染拡大を何としても防いでいかなければならないという状況であります。

先ほどの感染状況等の分析、こちらを踏まえ、今後、3つの対策に重点を置いて取り組んでいただくように指示をいたします。

まずは、集団感染の早期の抑え込みであります。現在発生している集団感染に対しては、先ほど報告等もありましたけれども、既に医師の派遣など、対策に取り組んでいるところであるわけでありますが、医療施設・福祉施設における集団感染が、全体の感染者数を押し上げていることから、この感染の連鎖を防ぐため、大規模な集団感染が発生している地域においては感染者が発生していない、こうした施設においても、速やかに、検査の実施について検討するように指示をいたします。

2点目といたしましては、変異株の対策であります。これまでスクリーニング検査を実施してきたところでありますが、道内での事例確認を踏まえまして、早期抑え込みに向けて、保健所設置市との連携を一層強化をし、より迅速な検査の実施など、監視体制について、さらなる強化を図るように指示をいたします。なお、この変異株であります。感染力が従来よりも強い可能性があるというふうにされているわけでありますが、3密の回避、マスクの着用、手洗いなど、基本的な感染防止対策が有効であるというふうにされているところであります。こうした観点からも過度に恐れることなく冷静に行動していくことが重要になりますので、変異株についての正確な情報の発信についてもそれぞれ周知いただくようお願いいたします。

3点目でありますが、これは繰り返しになるわけですが、基本的な感染防止対策の徹底であります。各本部員におかれては、「感染はいつでも、どこでも起こりうる」ということを再認識していただいて、あらゆる機会を活用した注意喚起を行い、感染防止対策の徹底を図っていただくように改めて指示をいたします。

最後になりますけれども、これから、これも繰り返し皆さんと確認をしてきましたが、人の移動、そして会食の機会の増加、ということが本格化をしていくわけであります。

ワクチンの摂取も高齢者向けの接種が始まったわけであります。ここからの取組が極めて重要になるということであります。感染の再拡大の防止、リバウンドの防止、こちらに向けて、今一度、気を引き締めて、関係者が一丸となって取り組んでいくことをお願いいたします。私からは以上です。

【副本部長（中野副知事）】

はい、それでは、ただいま本部長から指示のありました3点、各本部員は速やかに必要な対応を取っていただきますように、よろしく願いをいたします。

それでは以上をもちまして、第40回本部会議を終了いたします。

(了)